



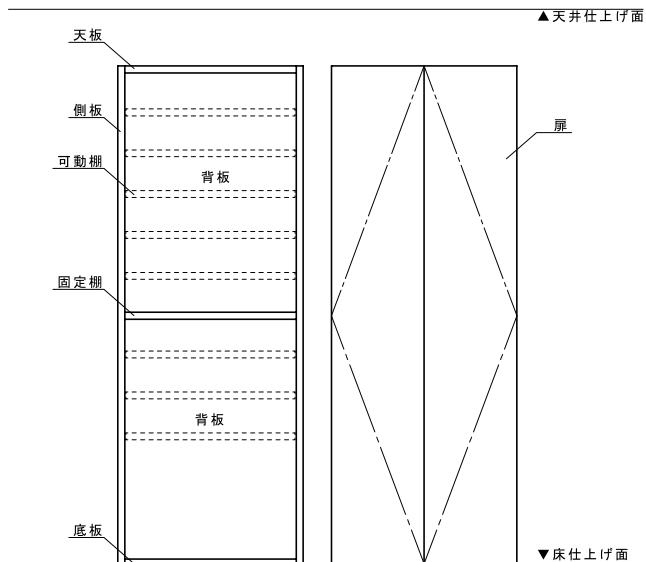
2026 **FHD** FULL
HEIGHT
DOOR
玄関収納（設計・施工）

「フルハイドア® 玄関収納(設計・施工)」はフルハイドア® 玄関収納の部材や組み立て方法などについて掲載しております。
施工方法はホームページまたは下地枠納品時に同梱している「施工手順書」をご確認ください。
また、商品のデザインや価格、納期は総合カタログをご確認ください。

Brillia / CLIFF

ブリリア クリフ

P. 3

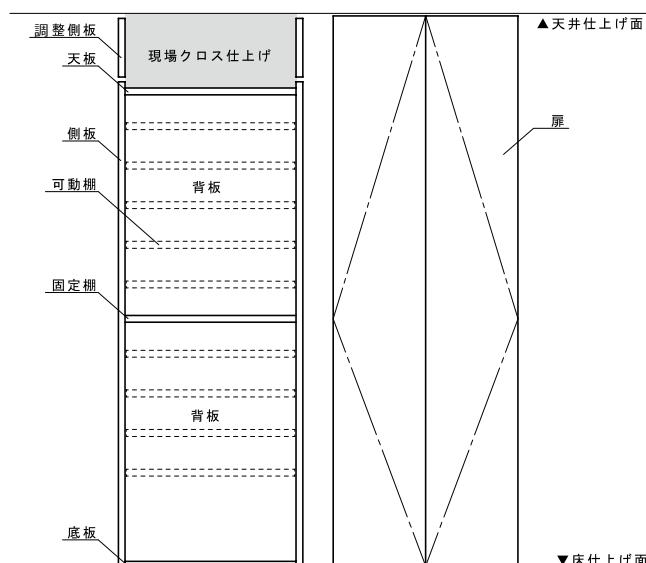


高さ固定の為、現場施工がしやすい玄関収納です。
カウンタータイプ、セパレートタイプ、
モダントールタイプ、フルトールタイプの
4種類のご用意があります。

FULLHEIGHT-BOX

フルハイドボックス

P.10



高さ特注が可能なフルハイドボックスは、キャビネット
上部に調整側板を設置し、現場の天井高に合わせる
ことができる玄関収納です。
キャビネット上の調整側板の壁は背板がありません
ので、現場でクロスを貼って仕上げます。
フルトールタイプのみのご用意です。

玄関収納

Brillia / CLIFF

ブリリア
クリフ



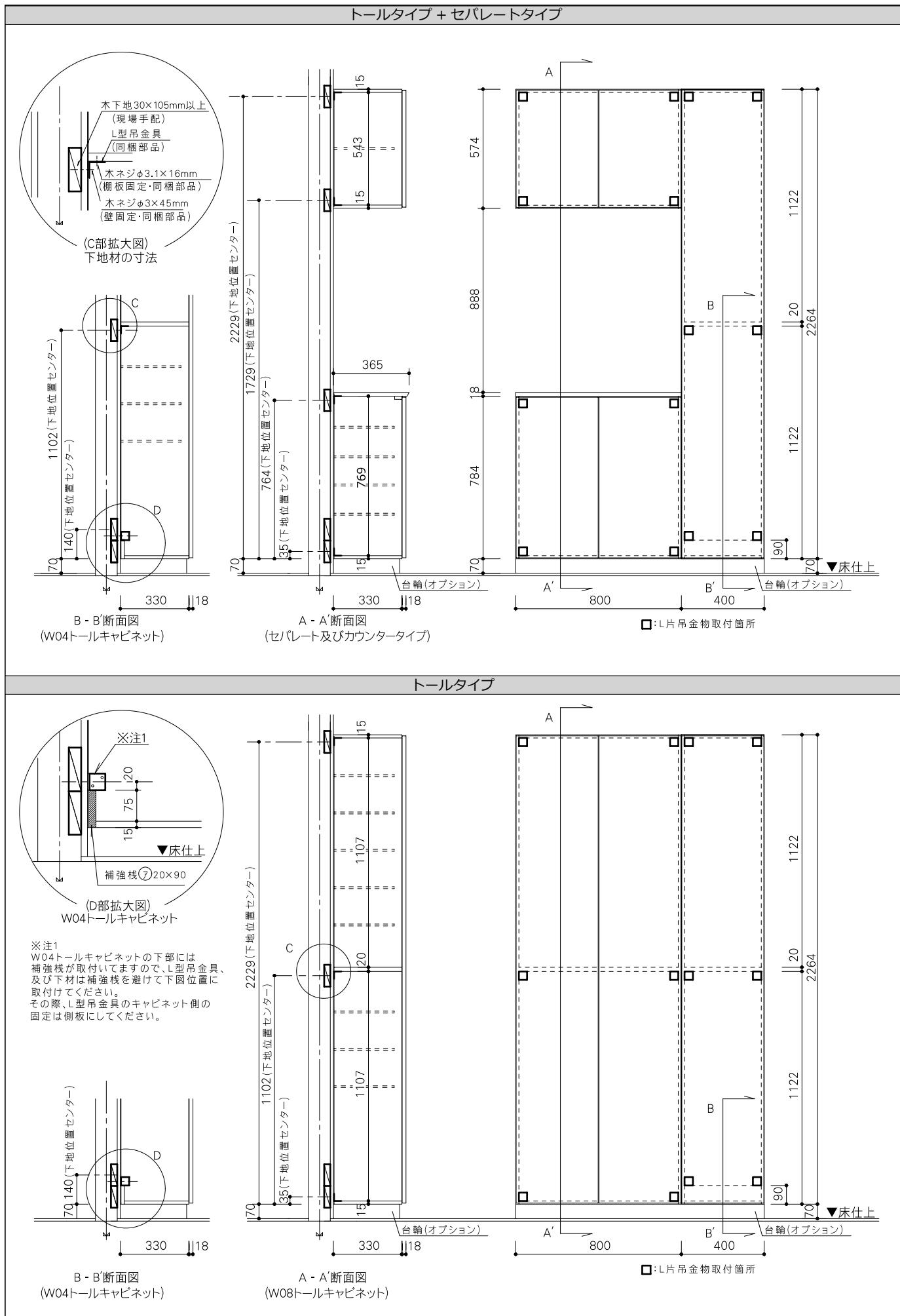
施工前にこの説明書をよく読み、正しく施工してください

- 本体は必ず壁に固定してください。壁には所定の位置に胴縁を入れて木ネジで固定してください。
落下、転倒の恐れがあります。
- この商品は室内用ですので、屋外や水がかりするところには使用しないでください。
- 高温、高湿の環境条件では使用できません。
- 施工される前に必ず「施工説明書」をよくお読みになり、正しく施工してください。
- 表面にテープを貼らないでください。汚れ、破損の原因になります。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合はカラモミを防ぐため、トルク調整をしてください。
- 施工前に、部材の数量・キズの有無をご確認ください。施工後のキズは当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。

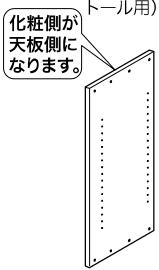
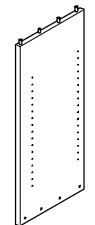
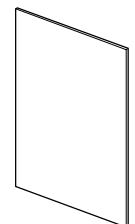
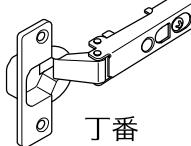
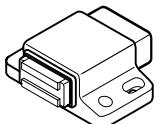
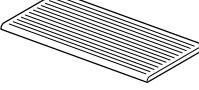
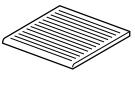
安全についてのご注意 [ケガや事故を防止するため以下の事項を必ずお守りください]

- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、接着剤を使用する場合は十分な換気を心がけてください。
- 材料の加工・切断時は周囲の安全に十分注意し、表面側からノコギリを入れてください。
裏面から行いますと化粧面のハガレの原因になります。
- 引き渡し前に工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。

Brillia/CLIFF 説明書 ①納まり例

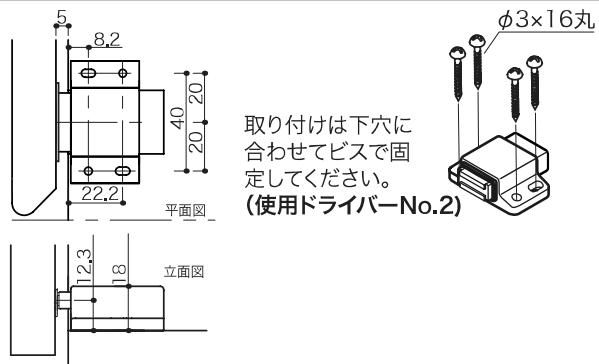


Brillia/CLIFF 説明書 ②部材・部品図

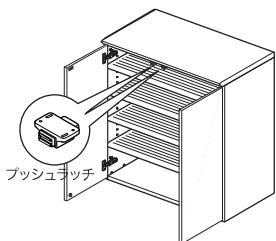
部材姿図			部品姿図		
側板 (ウォール・ トル用) <small>化粧側が 天板側に なります。</small>	側板 (ベース用)	背板 (MDF t2.5)	丁番	丁番座	取付木ネジ (Φ3.5×14皿)
					
天板・地板	中板	L型吊金具	L型吊金具取付木ネジ 壁固定側 (Φ3×45丸)	L型吊金具取付木ネジ キャビネット側 (Φ3.1×16丸)	 プッシュラッチ
				 取り付け木ネジ (Φ3×16丸)	
ベース用天板 (扉に同梱)	着脱地板	接着剤	接着剤	接着木ネジ (Φ3.5×25皿)	 プッシュラッチ 受け
				 連結木ネジ (Φ3.5×25皿)	 取り付け木ネジ (Φ2.3×13皿)
棚板(大)	棚板(小)	棚受ダボ	釘	着脱地板取付ボルト	
					

Brillia/CLIFF 説明書 ③キャビネットの組み立て

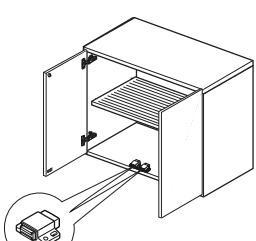
プッシュラッチは組立て前に取り付けてください



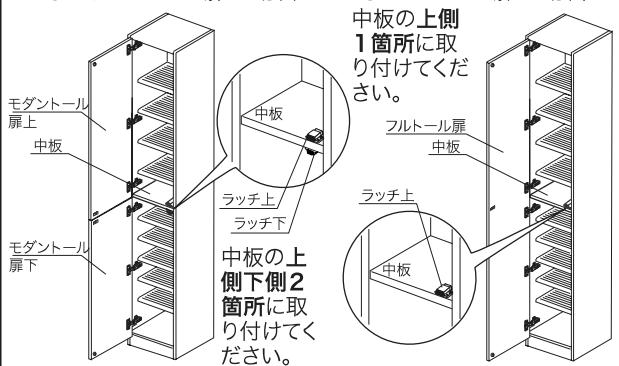
○カウンター扉の場合
天板へ取り付けてください。



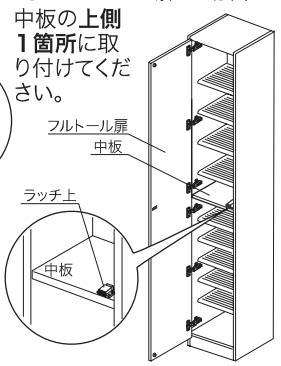
○ウォール扉の場合
地板へ取り付けてください。



○モダントール扉の場合



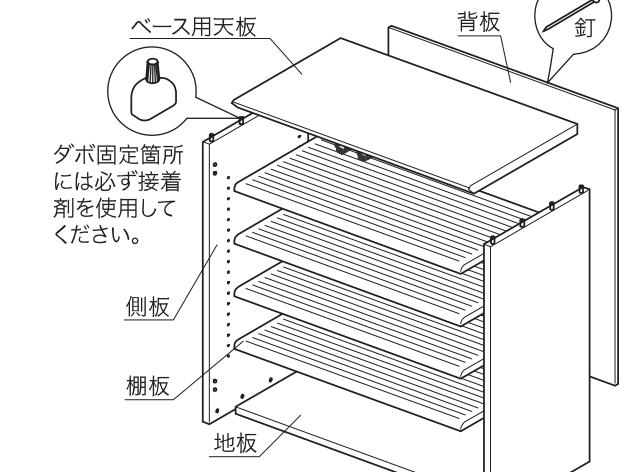
○フルトール扉の場合



ラッチ受けを
扉裏面の下穴に合わせて
取り付けてください。
φ2.3×13皿

図を参考にしてキャビネット(箱)を組立てください

※背板を15cm間隔で釘固定してください。



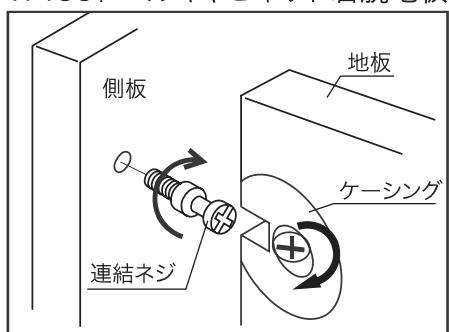
化粧側が天板側になります。

ダボ固定箇所には必ず接着剤を使用してください。

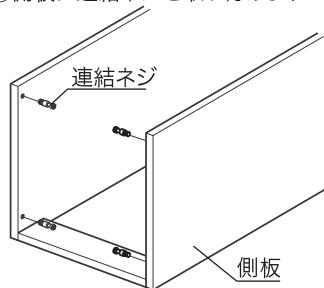
棚ダボ用の穴寸法
穴径: φ3.1
深さ: 10mm

※ W800,760の棚板の設置時、棚板の中の鉄心が飛び出している場合があります。(本体を傷つける事があります)
ご確認の上、取り付けてください。
(飛び出していた場合は、押し込んでいただければ入ります)

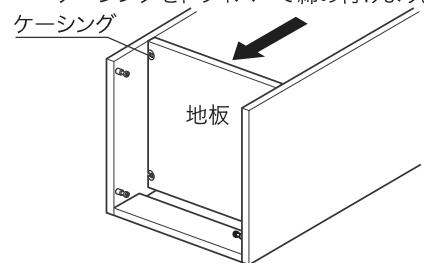
W400トールキャビネット着脱地板の取付方法



①側板に連結ネジを取り付けます

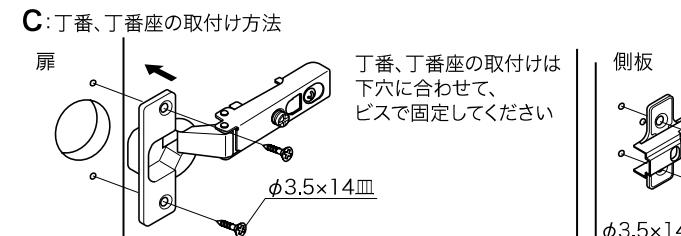
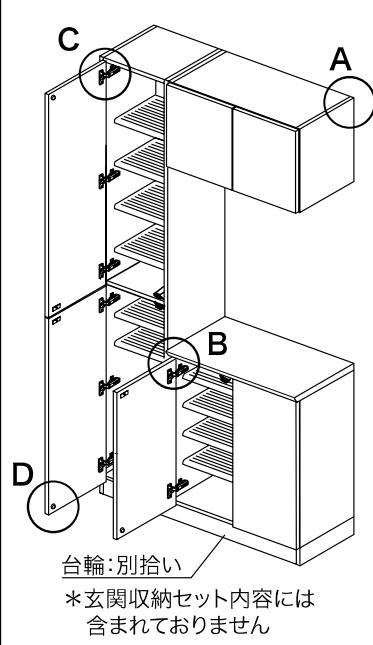
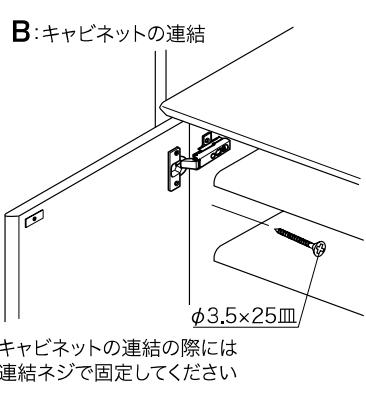
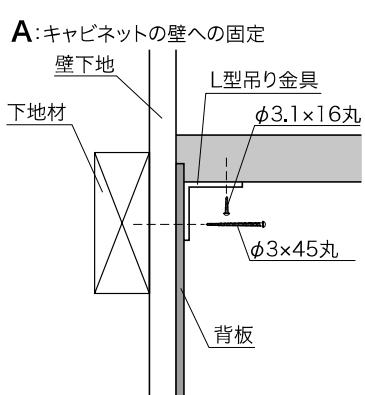


②地板を矢印の方向から落とし込み
ケーシングをドライバーで締め付けます。



Brillia/CLIFF 説明書 ④施工方法・丁番の調整方法

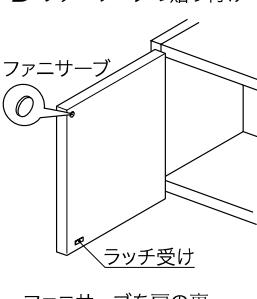
施工方法



丁番を丁番座にはめ込んでください。
ビス固定は必要ありません。
ワンタッチで取付けられます。

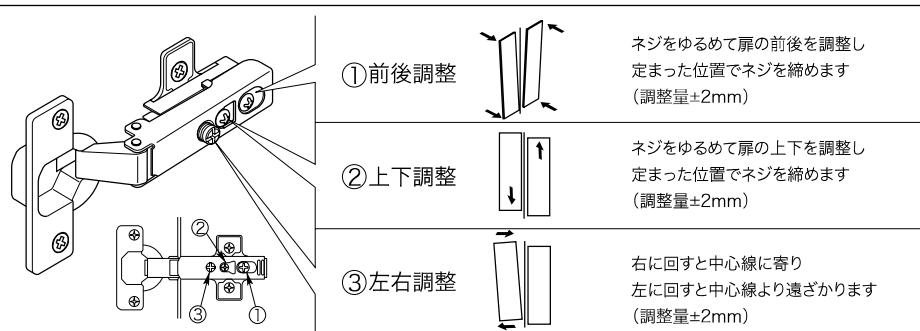
台輪:別拾い
*玄関収納セット内容には
含まれておらずません

D: フアニサーブの貼り付け

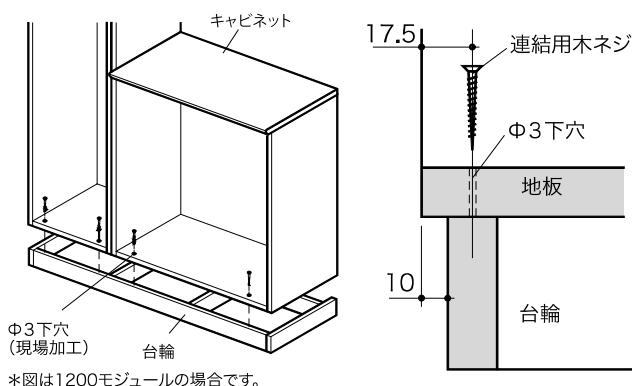


フアニサーブを扉の裏面(ラッチ受けの無い上下どちらかの側)に貼付けてください。

丁番の調整方法



台輪 (オプション) とキャビネットの固定方法

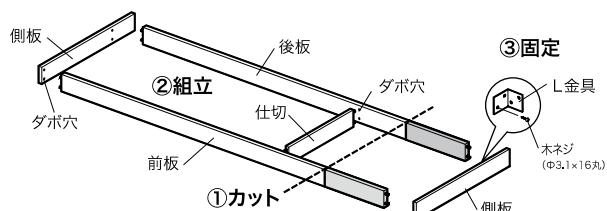


重要

台輪は床板から10mm控えて連結用木ねじで固定してください。

※前板と後板をカットする場合

- ①キャビネット幅から15mm(台輪側板の厚み分)をひいた長さに前板と後板をカットする。
- ②ダボ穴に接着剤を入れてから組み立てる。
- ③もう一方の側板をL金具で前板と後板に固定する。(2ヶ所)



Brillia/CLIFF 説明書 ⑤キャビネット寸法 -1

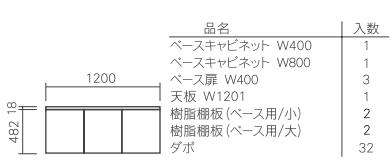
カウンタータイプ

H500タイプ

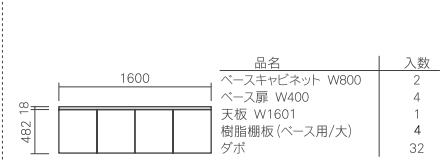
【W800/W760】※〔 〕内はW760の寸法



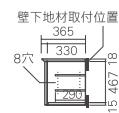
【W1200】



【W1600】

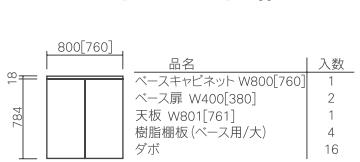


【断面図】

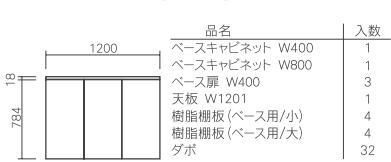


H800タイプ

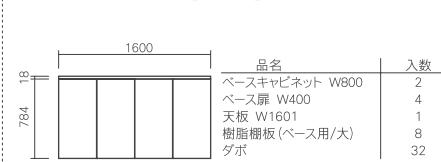
【W800/W760】※〔 〕内はW760の寸法



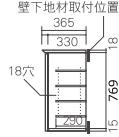
【W1200】



【W1600】

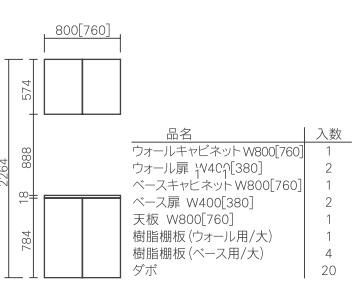


【断面図】

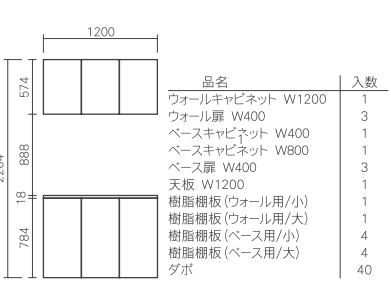


セパレートタイプ

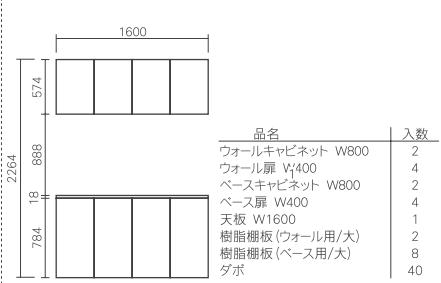
【W800/W760】※〔 〕内はW760の寸法



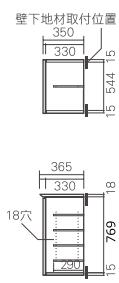
【W1200】



【W1600】

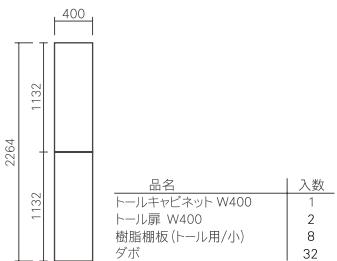


【断面図】

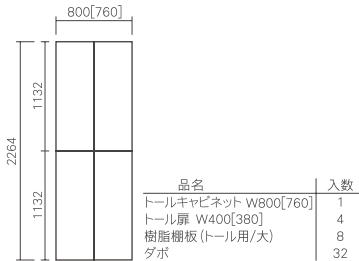


モダントールタイプ

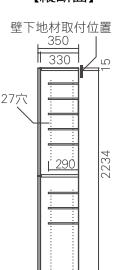
【W400】



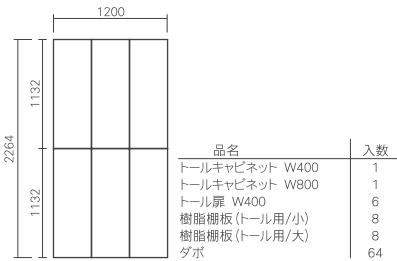
【W800/W760】※〔 〕内はW760の寸法



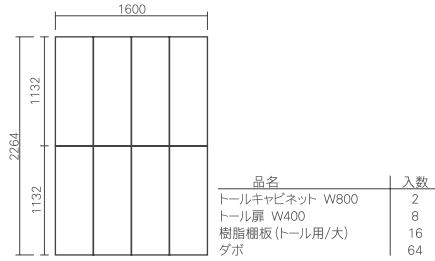
【縦断面】



【W1200】



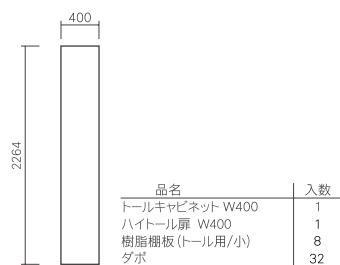
【W1600】



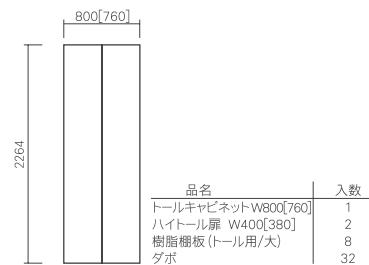
Brillia/CLIFF 説明書 ⑤キャビネット寸法 -2

フルトルタイプ

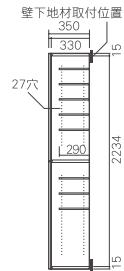
【W400】



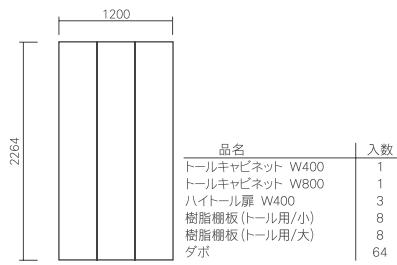
【W800/W760】※〔〕内はW760の寸法



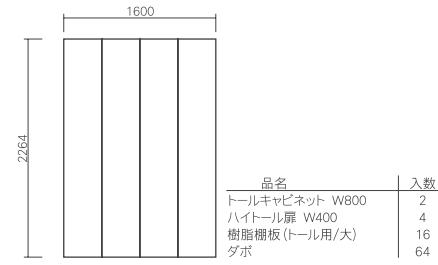
【縦断面】



【W1200】



【W1600】



カウンター材長さ変更について

【規格寸法の場合のダボ穴加工位置】

カウンタータイプ・セパレートタイプのカウンター材のみ、
特注で長さを長くすることができます。

但し、ベースキャビネットを取り付けるための

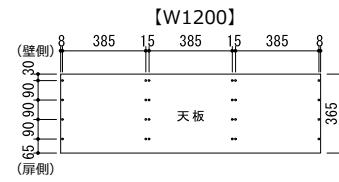
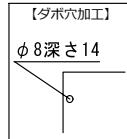
ダボ穴はすべて加工されませんので現場対応となります。

※対象はカウンタータイプ・セパレートタイプのみ

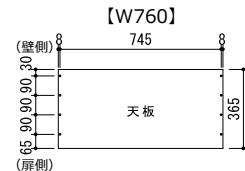
※カウンター材の長さは最大 2,400mm まで対応可能

※ダボ穴加工はすべて現場にて行ってください

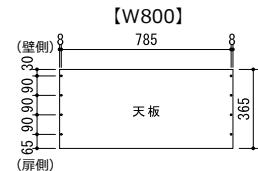
(規格寸法の場合はダボ穴加工されます)



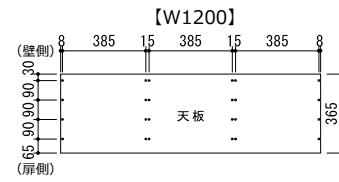
【W760】



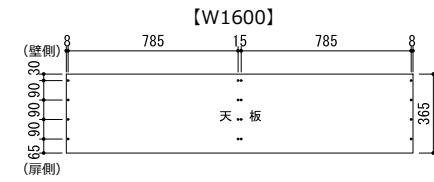
【W800】



【W1200】



【W1600】



玄関収納

FULLHEIGHT-BOX

フルハイットボックス



施工前にこの説明書をよく読み、正しく施工してください

- 本体は必ず壁に固定してください。壁には所定の位置に胴縁を入れて軸留め付け用ビスで固定してください。落下、転倒の恐れがあります。
- この商品は室内用ですので、屋外や水がかりするところには使用しないでください。
- 高温、高温の環境条件では使用できません。
- 施工される前に必ず「施工説明書」をよくお読みになり、正しく施工してください。
- 表面にテープを貼らないでください。汚れ、破損の原因になります。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合はカラモミを防ぐため、トルク調整をしてください。
- 施工前に、部材の数量・キズの有無をご確認ください。施工後のキズは当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- この商品はフラッシュ（中空）構造になっています。ダボ穴組み付けで、ゴムハンマーを使用する際は、必ず当て木を使用してください。

安全についてのご注意【ケガや事故を防止するため以下の事項を必ずお守りください】

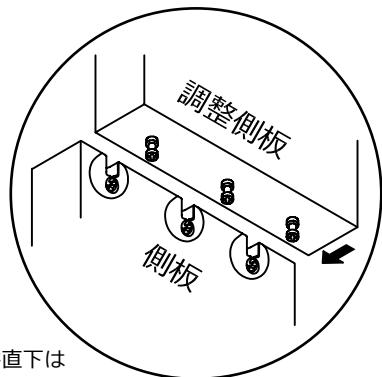
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、接着剤を使用する場合は十分な換気を心がけてください。
- 材料の加工・切断時は周囲の安全に十分注意し、表面材からノコギリを入れてください。
裏面から行いますと化粧面のハガレの原因になります。
- 引き渡し前に工事管理者が必ず点検を行い、不具合の箇所を補修してください。

FULLHEIGHT BOXについて

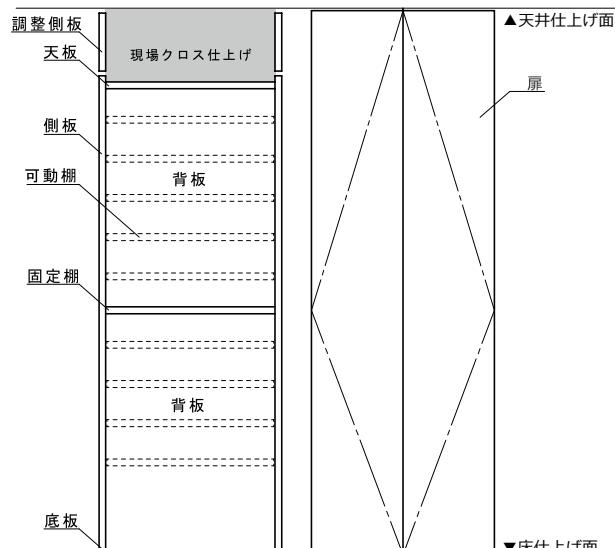
高さ特注可能なフルハイトボックスは、調整側板で高さを調整します。

ご注文のH寸法によってキャビネットの高さが変動します。

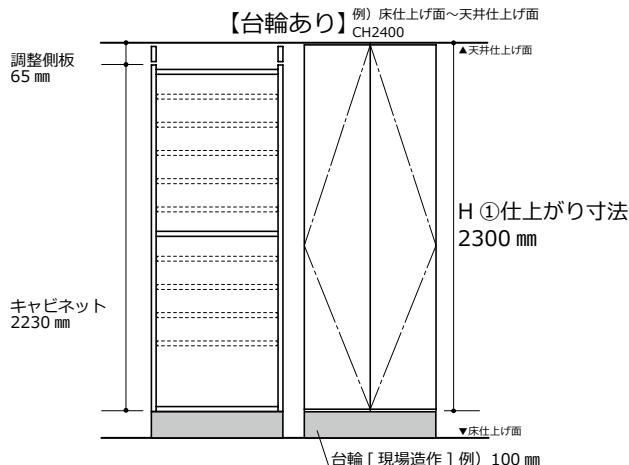
キャビネットの高さ寸法は下記にてご確認ください。



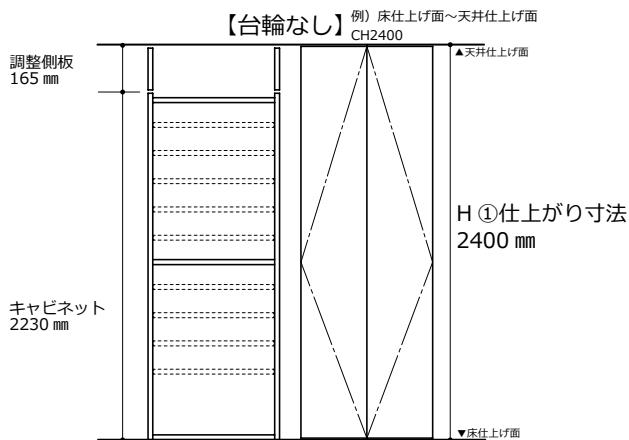
施工性に考慮し天井直下は調整側板を取付けます。



台輪を設置したりフロート納まりにする場合



台輪を現場製作で設置する場合やフロート納まりの場合は床仕上げ面～天井仕上げ面から、台輪もしくは浮かせるH寸法分を引いたH寸法でご注文してください。



台輪なしやフロート納まりにしない場合は床仕上げ面～天井仕上げ面までのH寸法でご注文してください。

キャビネット高さ一覧

H2400の場合

※の範囲は“調整側板”を現場カットして高さを調整してください。

■は標準サイズとなります。

H①仕上がり寸法	1800	1801～1860	1861～1920	1921～1980	1981～2040	2041～2100	2101～2160
キャビネット高さ	1630	1690	1750	1810	1870	1930	1990
調整側板	165	106～165	106～165	106～165	106～165	106～165	106～165

H①仕上がり寸法	2161～2220	2221～2280	2281～2284	※ 2285～2399	2400	※ 2401～2406
キャビネット高さ	2050	2110	2170	2230	2230	2230
調整側板	106～165	106～165	106～109	50～164	165	166～171

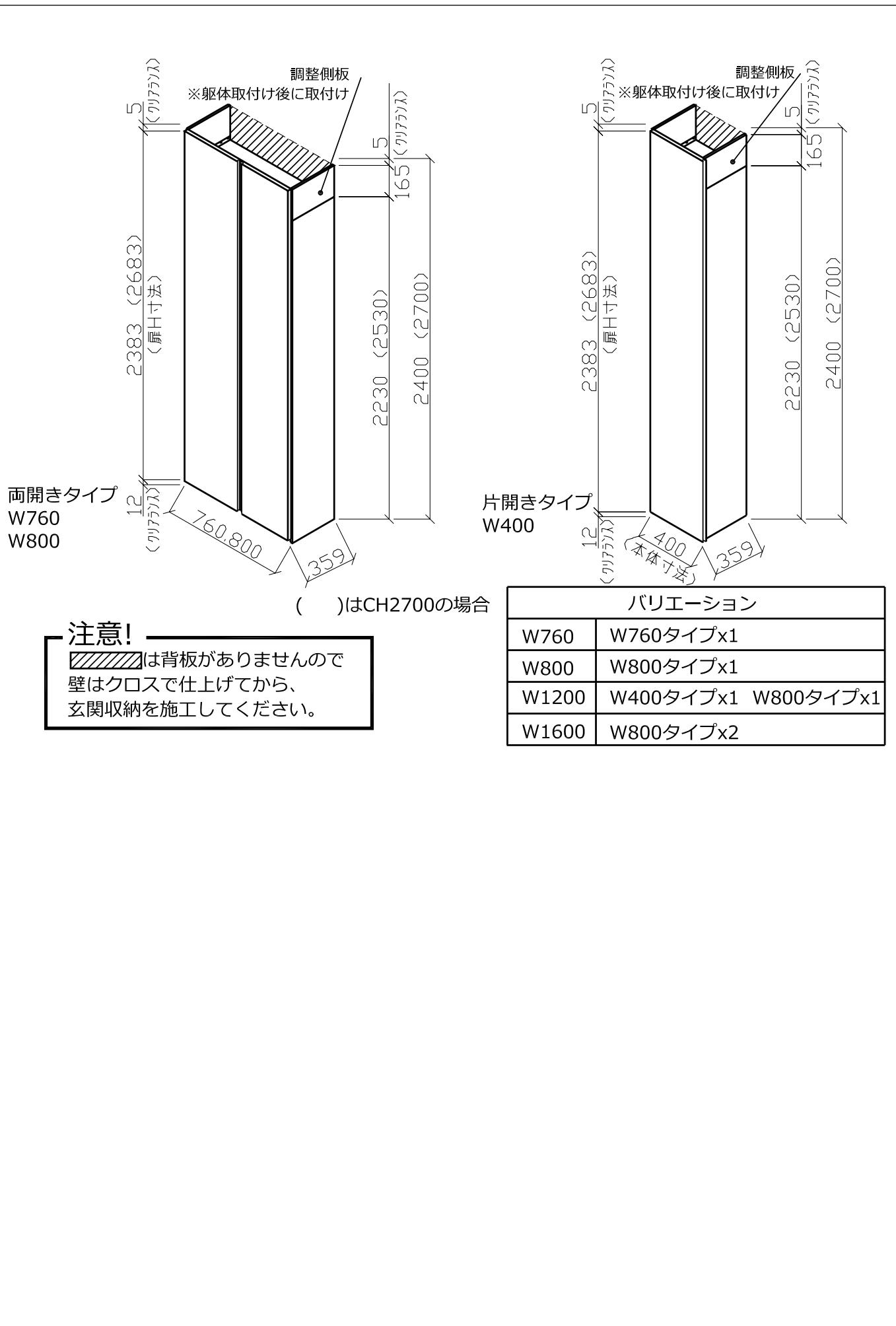
H2700の場合

※の範囲は“調整側板”を現場カットして高さを調整してください。

■は標準サイズとなります。

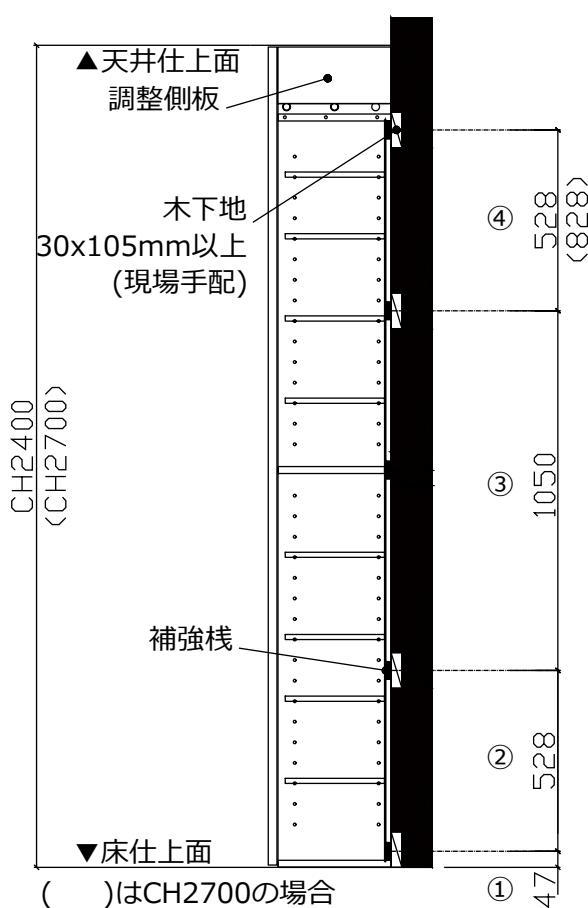
H①仕上がり寸法	2407～2460	2461～2520	2521～2580	2581～2584	※ 2585～2699	2700
キャビネット高さ	2290	2350	2410	2470	2530	2530
調整側板	111～165	106～165	106～165	106～109	50～164	165

FULLHEIGHT BOXについて



1. 木下地の位置

規格サイズH2400・2700の場合



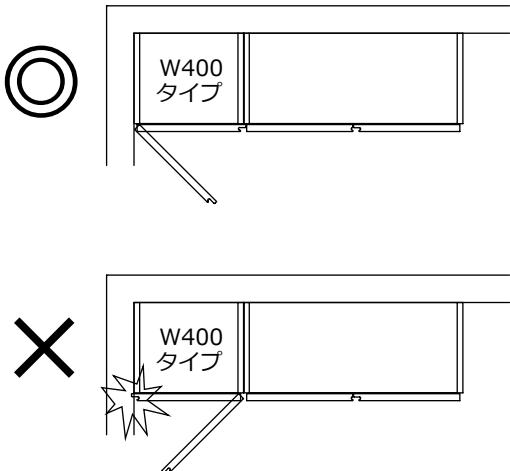
H特注の場合

CH	①	②	③	④
1800				108
1801~1860				168
1861~1920				228
1921~1980				288
1981~2040				168
2041~2100				228
2101~2160				288
2161~2220				348
2221~2280				408
2281~2284				468
※ 2285~2406				528
2407~2460				588
2461~2520				648
2521~2580				708
2581~2584				768
2585~2700				828

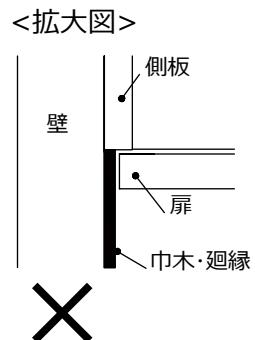
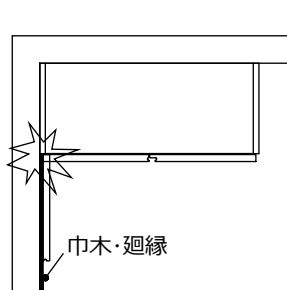
※
CH2285~CH2399、2401~2405、2585~2699の場合のみ"調整側板"を現場でカットして高さを調整してください。

規格サイズ及びCH2406は調整側板のカットは不要です。

2. 納まり注意事項



W400タイプには、右タイプ、左タイプがあります。
右吊元タイプを左側に、左吊元タイプを右側に
並べて設置する事はできません。
※W400タイプは本体側面より扉先端が外に出ています。



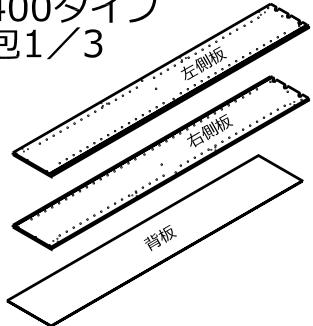
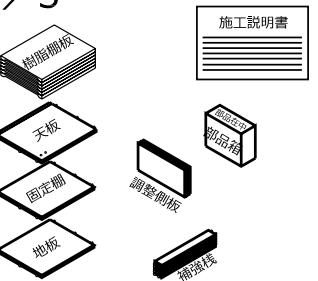
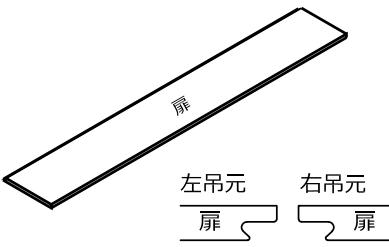
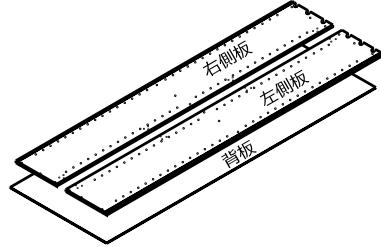
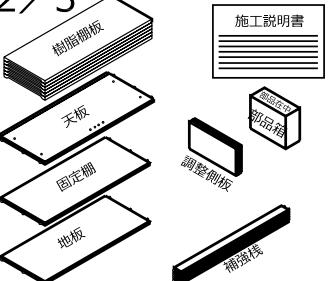
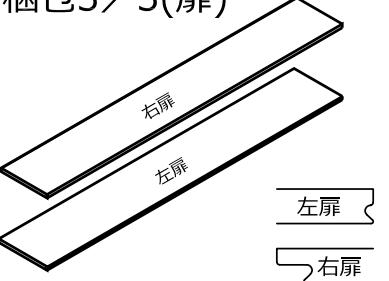
玄関収納の左右側面は扉を十分に
開ける事ができる隙間を空けてください。
また、巾木や廻縁等を側板の小口にあてて
納めないでください。
扉の開閉の妨げになります。

1. 部品・金物の内容

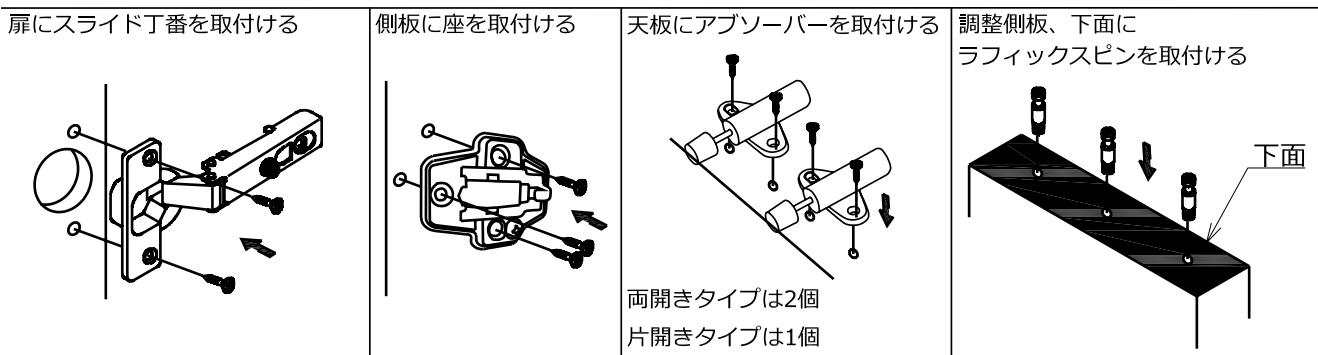
※()はH2700タイプの数量

施工説明書(本書)	樹脂棚板 D W T	アブソーバー
W400 --- 1	W400 --- 8(9)	W400 --- 1
W760 --- 1	W760 --- 8(9)	W760 --- 2
W800 --- 1	W800 --- 8(9)	W800 --- 2
スライド丁番	丁番座金	ラフィックス ラフィックス連結ボルト ラフィックスケーリング ラフィックスキャップ ※ラフィックスケーリングは側板に取付け済み
W400 --- 4(5)	W400 --- 4(5)	W400 --- 6
W760 --- 8(10)	W760 --- 8(10)	W760 --- 6
W800 --- 8(10)	W800 --- 8(10)	W800 --- 6
背板止金物	棚ダボ	クリアバンポン
W400 --- 8	W400 --- 32(36)	W400 --- 3
W760 --- 8	W760 --- 32(36)	W760 --- 6
W800 --- 8	W800 --- 32(36)	W800 --- 6
軀体固定用ビス 3.8xL57	本体連結ビス 3.5xL35	接着材
W400 --- 8	W400 --- 4	W400 --- 1
W760 --- 12	W760 --- 4	W760 --- 1
W800 --- 12	W800 --- 4	W800 --- 1

2. 部品梱包内容

W400タイプ 梱包1/3	W400タイプ 梱包2/3	W400タイプ 梱包3/3(扉)
		
W760,800タイプ 梱包1/3	W760,800タイプ 梱包2/3	W760,800タイプ 梱包3/3(扉)
		

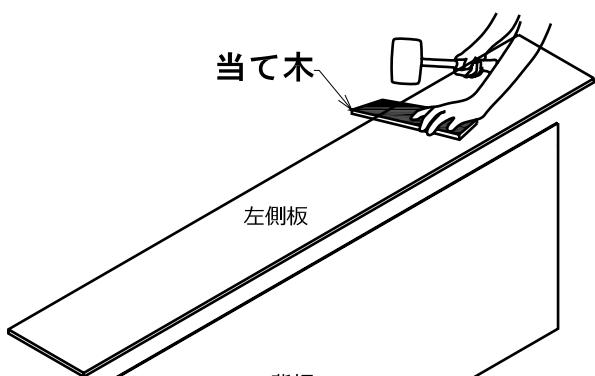
1:部品の取付



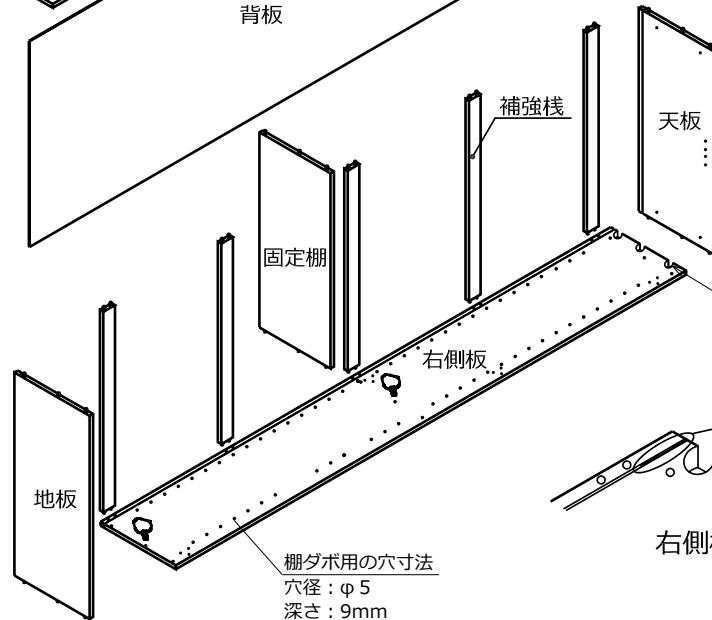
2:本体キャビネットの組立

注意!

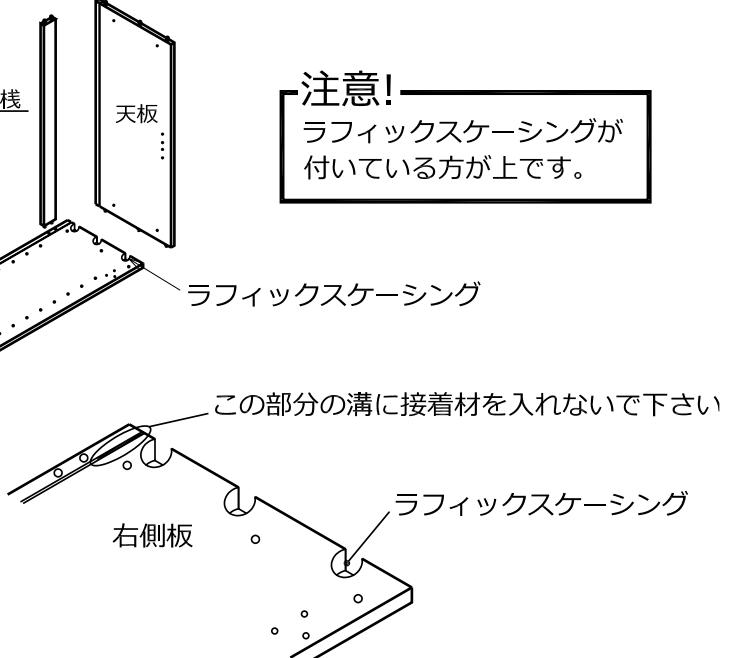
部材はフラッシュ(中空)構造になっていますので、必ず当て木を使用してください。



- ①左右どちらかの側板を平らな場所に置き
側板のダボ穴に接着剤を入れ
天板、地板、固定棚、補強桿
をダボ穴に差し込みます。
- ②側板、天板、地板の溝に接着材を入れ
背板を差し込みます。
(ラフィックスケーシング部の
溝には接着材を入れないでください。)
- ③もう1枚の側板のダボ穴、溝に接着材を
入れ各々のダボを接合します。

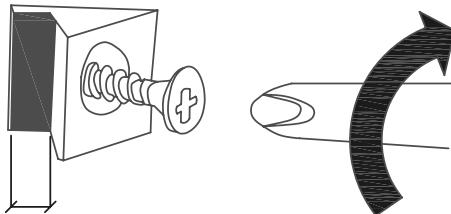
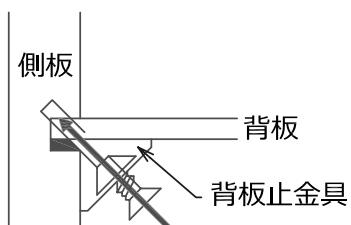


注意!
ラフィックスケーシングが
付いている方が上です。



3: 背板止金具の取付

側板と背板の間に背板止金物を取付、ネジを締め込みます。
左右各4箇所、補強桿と補強桿の中間に取付てください。
(※下記補強桿の位置を参照)



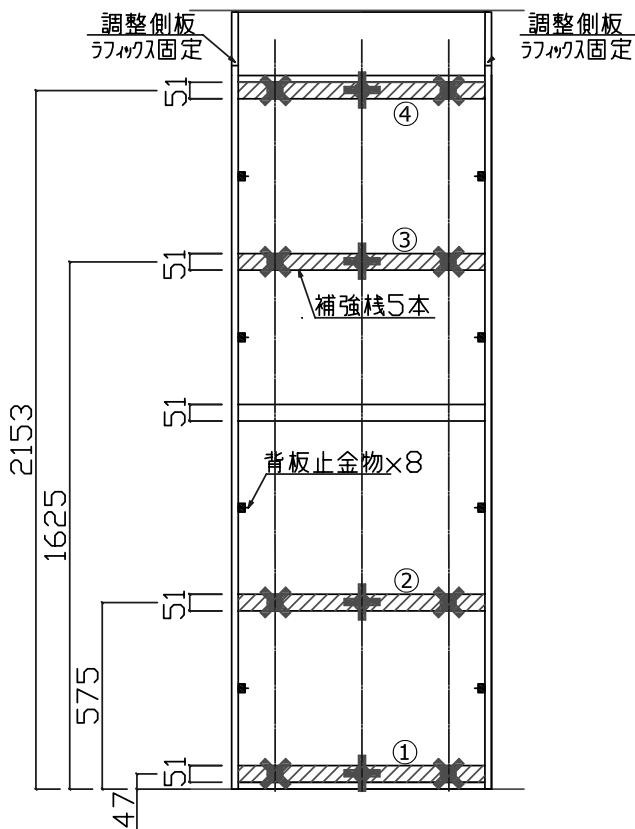
この部分を隙間に
差し込んでください。

4: 軸体への固定位置

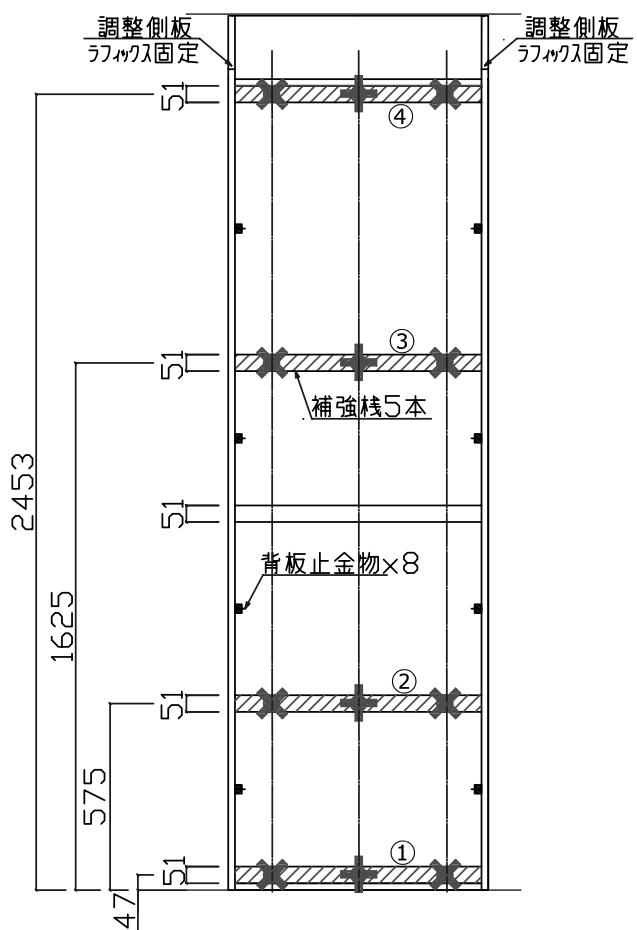
軸体との固定は補強桿①②③④のある位置で行ってください。
W400タイプは両端8ヶ所、
W760、W800タイプは両端、中央12ヶ所
固定してください。

注意!

高さ特注の場合③、④の位置は高さにより異なります。
別紙「説明書②納まり」を参照してください。
必ず製品をご確認ください。



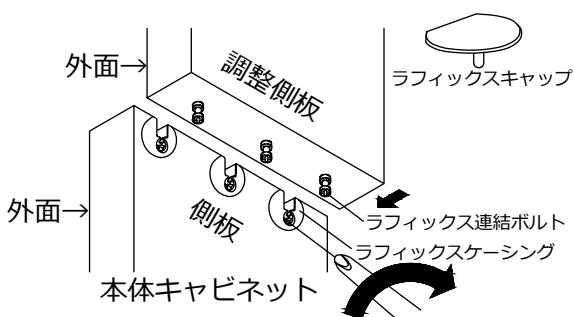
規格サイズ CH2400 の場合



規格サイズ CH2700 の場合

FULLHEIGHT-BOX 説明書 ③キャビネットの組み立て -3

5:調整側板の取付



調整側板を本体キャビネット側板の上部に取付ます。
調整側板を本体キャビネット側板の内側より取付し、
本体内側より、ラフィックススケーリングを固定します。
最後に内側にキャップをはめてください。
※本体キャビネット側板と調整側板の外面に
段差がないように調整してください。

注意!

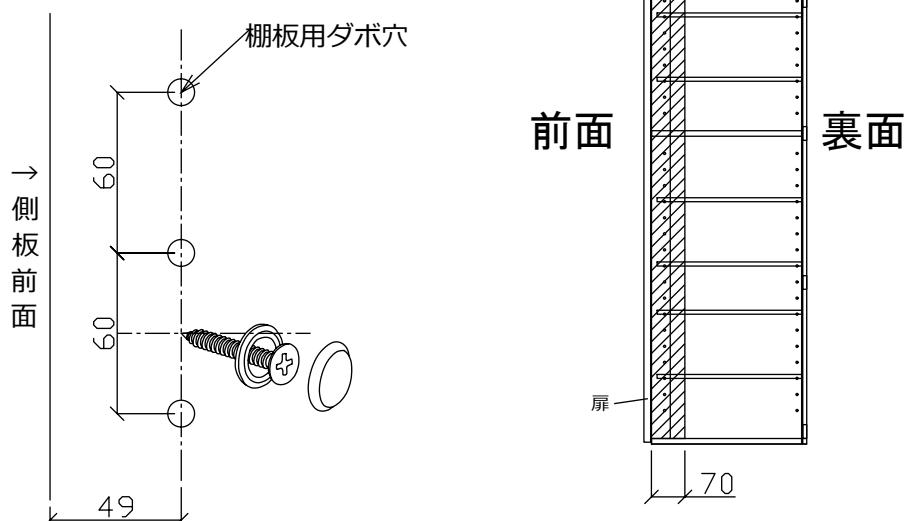
CH2285～2399、2401～2405、2585～2699の場合のみ
"調整側板"を現場でカットして高さを調整してください。
※規格サイズ及びCH2406は調整側板のカットは不要です。

6:本体キャビネット側板の連結

(W1200, W1600のみ)

本体キャビネットの前面から70mm以内に連結用ビス4本を使用して本体の側板同士の横連結をしてください。

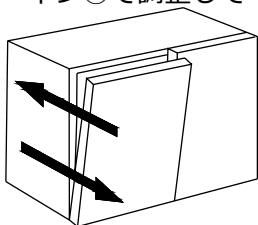
※前面側の棚板用ダボ穴の中間が推奨位置です。



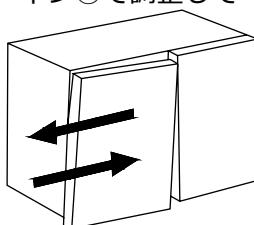
7:扉の調整

※クリアパンポンは天板、地板、固定棚が当たる扉裏面に貼付けてください

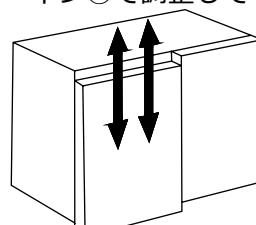
- 前後調整
ネジ①で調整してください。



- 左右調整
ネジ②で調整してください。



- 上下調整
ネジ③で調整してください。

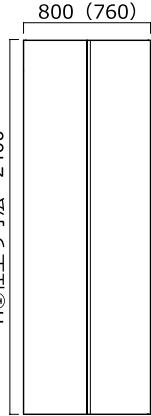


- アジャスト量
左方向(吊元)1mm
右方向(戸先)3mm
計4mm

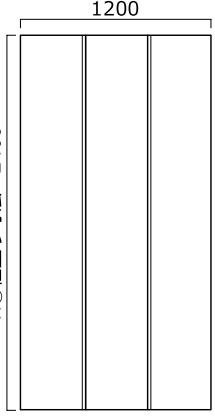
- アジャスト量
前方向3mm, 後方向1mm 計4mm
- アジャスト量
上方向1.5mm, 下方向1.5mm 計3mm

FULLHEIGHT-BOX 説明書 ④キャビネット寸法 -1

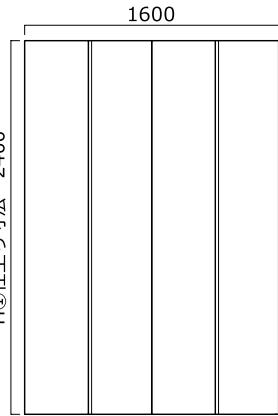
H2400



H①仕上り寸法 2400



H①仕上り寸法 2400



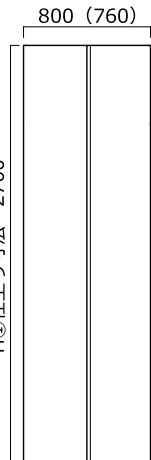
H①仕上り寸法 2400

品名	入数
キャビネット W800[760]	1
調整側板	2
ハイトール扉	2
樹脂棚板(大)	8
ダボ	3 2

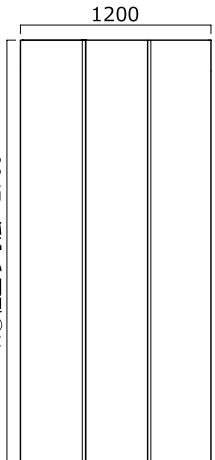
品名	入数
キャビネット W800	1
キャビネット W400	1
調整側板	4
ハイトール扉	3
樹脂棚板(大)	8
樹脂棚板(小)	8
ダボ	6 4

品名	入数
キャビネット W800	2
調整側板	4
ハイトール扉	4
樹脂棚板(大)	1 6
ダボ	6 4

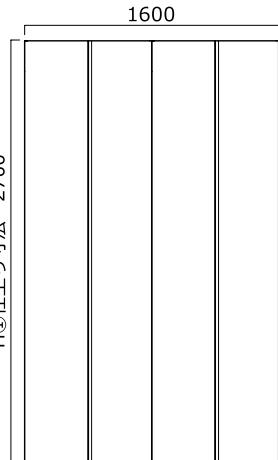
H2700



H①仕上り寸法 2700



H①仕上り寸法 2700



H①仕上り寸法 2700

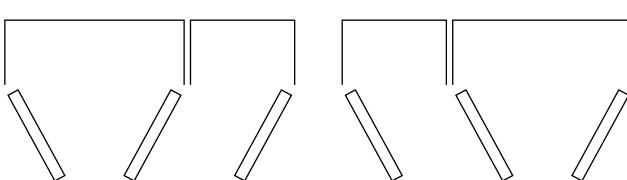
品名	入数
キャビネット W800[760]	1
調整側板	2
ハイトール扉	2
樹脂棚板(大)	9
ダボ	3 6

品名	入数
キャビネット W800	1
キャビネット W400	1
調整側板	4
ハイトール扉	3
樹脂棚板(大)	9
樹脂棚板(小)	9
ダボ	7 2

品名	入数
キャビネット W800	2
調整側板	4
ハイトール扉	4
樹脂棚板(大)	1 8
ダボ	7 2

W1200 では吊元の設定があります
ので開き勝手をご確認下さい。
※ W400 キャビネットを上下ひっくり返して設置する事はできません。

吊元 - 右 (R) 吊元 - 左 (L)



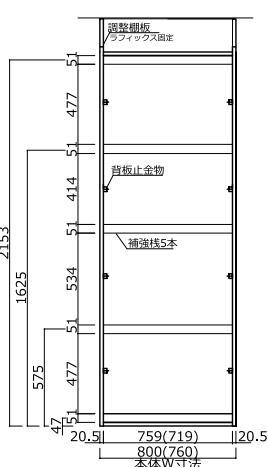
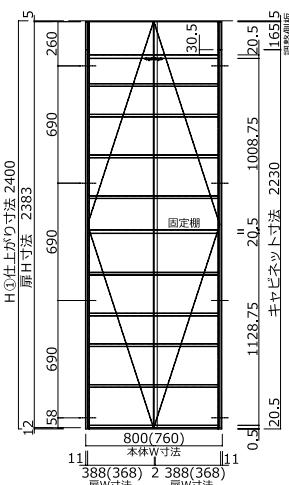
■製品の価格・仕様は予告なく変更する場合があります。

18

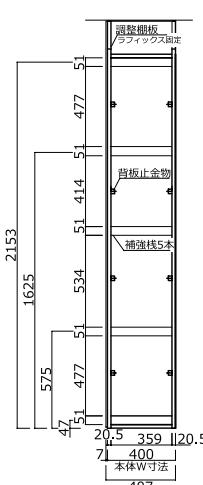
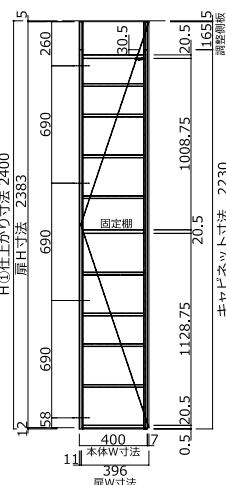
FULLHEIGHT-BOX 説明書 ④キャビネット寸法 -2

H2400

【W800 (760)】



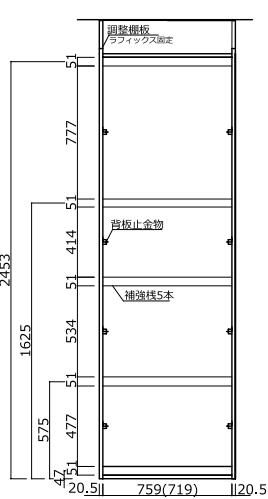
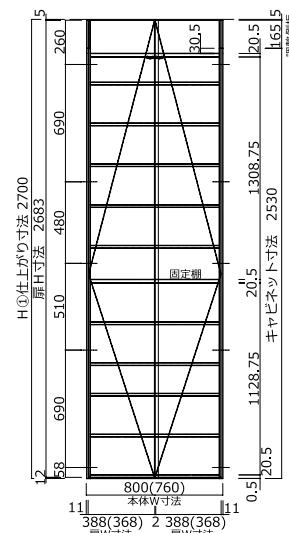
[W400]



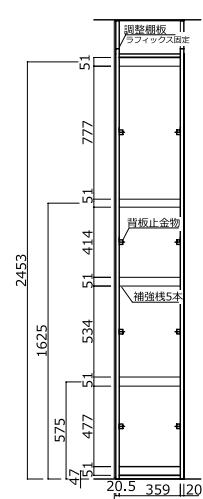
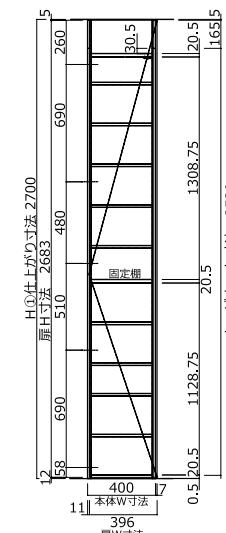
【断面図】

H2700

[W800 (760)]



[W400]



【断面图】

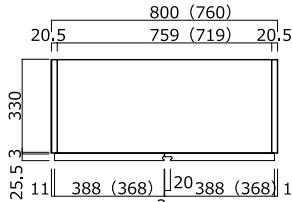
※当図はL勝手を示す

横断面図

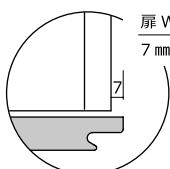
【W800 (760)】

【W1200】

【W1600】

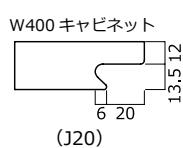


扉 W400 はキャビネットより
7 mm 大きく設定されています

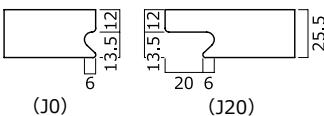


※当図はL勝手を示す

【扉の木口形状】



W800 キャビネット



お問い合わせ先

HEAD Office 株式会社KAMIYA 本社オフィス／伊勢原工場



MAP

[所在地] 〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川50
[営業時間] 9:30~17:00
[定休日] 土・日曜日・祝日
[連絡先] TEL.0463-94-6203 FAX.0463-94-8295

■お車でお越しの場合
伊勢原大山ICで降り「伊勢原大山IC入口」交差点を右折して県道603号に入る。700m進んだら「石倉橋」交差点を左折。そのまま県道611号を約2.5km直進。右手にセブンイレブンがある「工業団地東入口」交差点を右折し、坂を下って300m進んだ左側。
■バスでお越しの場合
小田急線伊勢原北口1番のりばより神奈中バス「伊勢原車庫」行き（系統16・43・44）に乗り、「駅台」バス停下車徒步2分

お問い合わせ内容により専門部署が承ります。電話番号をお確かめのうえ、おかげ間違いのないようご注意ください。
受付時間／月～金 9:30～17:00（祝日・当社定休日除く） 定休日／土・日曜日・祝日

納期・お取引・見積り依頼等のお問い合わせ／カタログ・サンプル依頼 カスタマーオペレーション課

TEL 0463-94-6203

FAX 0463-94-8295

音声ガイダンスにて
ご案内しております。
詳細はQRコードから



MAIL madoguchi@fullheight-door.com

見積り内容・納まり・仕様についてのお問い合わせ カムイ・積算課

TEL 0463-94-6204

FAX 0463-91-1388

カムイについてのお問い合わせ全般 カムイサポートセンター

TEL 0120-106-201

MAIL kamiya-kamui@fullheight-door.com

アフターメンテナンスについてのお問い合わせ 品質保証課

TEL 0463-94-6220

MAIL cs@fullheight-door.com